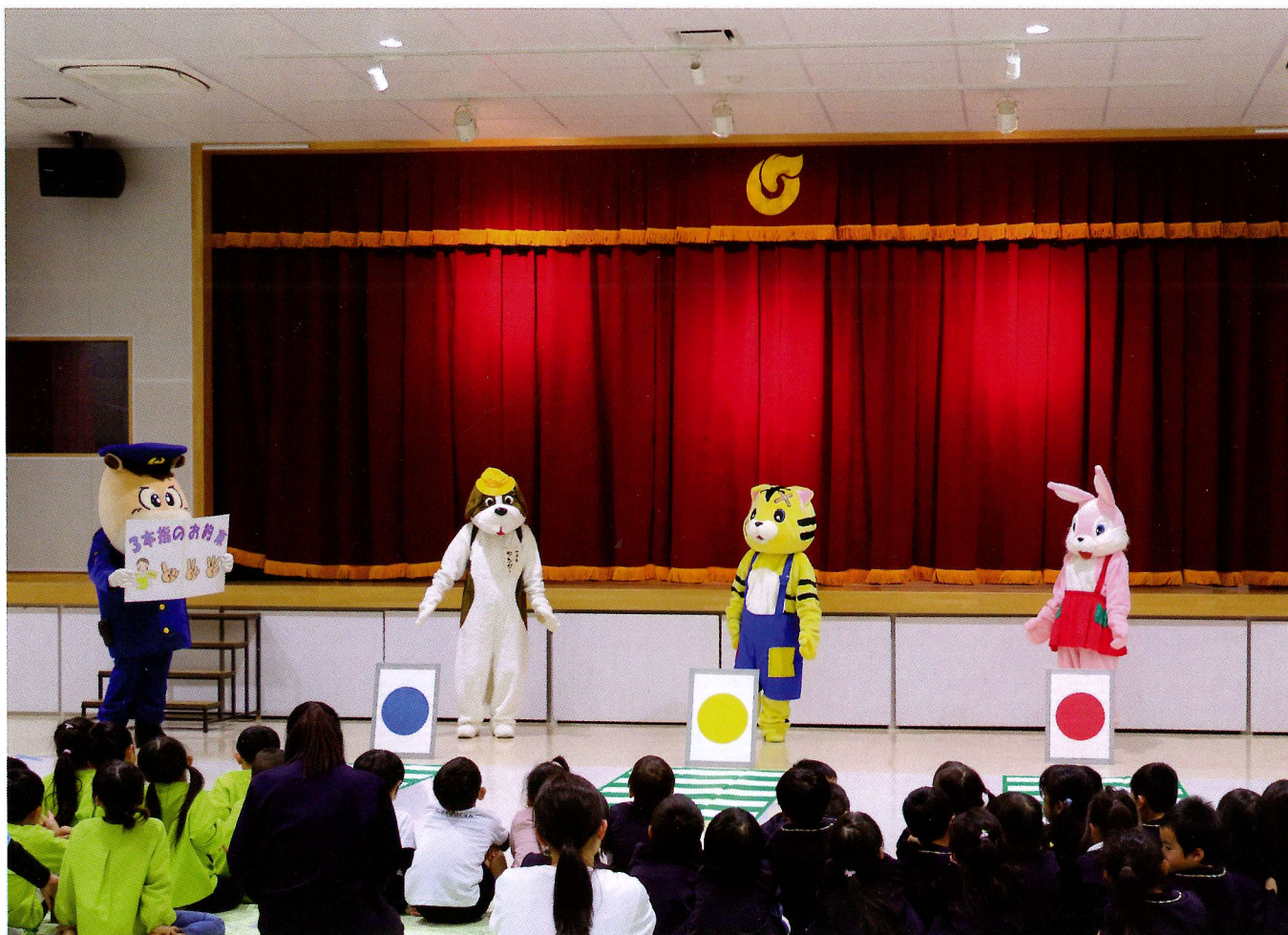


家庭でも みんなで語ろう 交通ルール



『交通安全意識を継続し事故撲滅へ』



榛東村交通安全会

会長 浅見弘之

明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より当会の活動に對しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、交通安全会理事の方々および交通安全関係団体の皆様には、各種活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

昨年の交通安全会の活動は、コロナ禍以前の状況に戻り、各種活動を通じて村民の皆様への交通安全に対する意識向上の一翼を担えたのではないかと思います。今年も交通安全会の活動を充実させ「交通事故ゼロ」を目指して各種活動に取り組みます。

さて、交通事故の原因の大半が「安全運転意識の欠如」に起因しています。運転する際の周囲の安全確認や一時停止などの基本的な交通ルールの順守を徹底し、交通事故の無い榛東村へ向けて、ご協力をお願い申し上げます。その中でも、交通事故全体の件数は年々減少していますが、高齢者の事故率は高止まりの状態です。交通安全会の活動でも、敬老会での啓発活動などを行い高齢者の事故撲滅にも取り組むたいと考えております。

また、高校生への自転車用ヘルメット購入時の補助活動も行っていますので是非活用いただき、安心・安全に通学していただきたいと思います。

このような活動を通じて交通事故撲滅を目指して取り組んで参りますので、村民の皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、本年も村民の皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



榛東村交通安全会
女性部長
板橋一江

交通ルールを 身に付けるために

新年明けましておめでとうございませう。

交通安全会をはじめ村民の皆様、関係者の皆様には、日頃より交通安全活動にご協力をいただき心より感謝申し上げます。

交通安全会では年間を通して様々な交通安全啓発活動を行っております。中でも交通安全会女性部におきましては、子どもたちが交通事故被害者とならないよう、村内幼保こども園にて『指人形劇』や『着ぐるみ劇』による啓発活動に力を入れております。

いずれの劇も、子どもたちが1人で道路を歩くのに必要な事を楽しく学んでもらえるよう、毎年内容を工夫して実施しています。『必ず止まる』『左右確認』などなど、当たり前の交通ルールではありませんが、道路を歩き慣れていない子どもたちにとっては意識できていないことも多いのです。と同時に、活動をしている私たちも改めて子どもたちの予測できない行動を認識できる良い機会となっております。

歩行者、運転者、それぞれが交通ルールを守り、交通事故ゼロの社会に繋がれるよう、今後も交通安全啓発活動に取り組んで参ります。村民皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



榛東村交通対策協議会
会長（榛東村長）
南 千晴氏

もつと！ 交通ルール遵守を

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本村では、榛東村交通安全会を初めとする交通関係の皆様のご協力により、毎年3月には村内小学校の新入学児童を対象として正しい横断歩道の渡り方について指導する親子交通安全教室を開催し、5月には春の交通安全教室を実施し、児童たちに交通ルールを守るための大切さを教えていただいております。また、9月の敬老会におきましては、薄暮や夜間に交通事故に遭わないよう、参加者の皆様に、靴に貼りつける反射材用品などの交通安全啓発物品が村交通安全会から配布されました。

交通安全運動期間中の一斉街頭指導や夜間パトロール、幼稚

園・保育園・こども園の子ども達が交通安全について分かりやすく理解できるように着ぐるみ劇なども実施していただいているほか、高校生を対象とする自転車用ヘルメット購入費の補助制度も継続実施されています。

また、enjoy SHINJO村づくり祭では、交通安全啓発物品の配布や交通安全整理の係員として来場者の安全確保を行っていただきました。

幼児から成人に至るまで全ての村民の交通安全意識と交通マナーの向上のため、影になり日向になりご尽力くださっている村交通安全会をはじめとする交通関係の方々へ改めて敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

本村の交通事故死亡者数は、平成26年から11年連続「ゼロ」を達成することができました。この11年という期間は簡単に成し得るものではなく、これもひとえに交通安全意識の醸成を図るため、交通関係の皆様が長年に渡り献身的な努力を積み重ねていただいた賜であり、重ねて感謝申し上げます。

交通事故死亡者数「ゼロ」の連続記録が途絶えることのないよう切に願っております。

昨年11月に改正道路交通法により、交通事故防止のため、自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されました。スマートフォンを持ち、自転車に乗りながら通話することや画面を注視することなどが禁止され、罰

則の対象となります。

自転車に乗る人、車を運転する人、歩行者が交通ルールを守れば多くの交通事故は防げます。思いやり運転を心がければ、さらに事故は減るでしょう。

交通事故は、被害者だけではなく、加害者も、そして双方の家族をも不幸にするものです。

悲惨な事故を1件でも減らすため、村交通安全会、交通指導員、渋川警察署、渋川交通安全協会などと連携し一丸となつて、さらなる交通安全意識の普及・啓発に努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。

新しい年が皆様にとって明るく、そして、事故なく、心身ともに健やかな1年となりますことを心よりお祈りいたします。



渋川交通安全協会
事務局長
田中愛子氏

運転の基本を守って 事故防止

新年明けましておめでとうございませう。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より渋川交通安全協会の活動などに深いご理解とご協

力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、県下の人身事故発生件数は、年々減少傾向にあります。が、それでも毎日多くの交通事故が起きています。事故の多くを車両相互の追突、交差点での出会い頭事故が占めており、事故原因は「前方不注意」、「安全不確認」といった運転の初歩的、基本的な注意義務を怠ったために発生しています。

誰もが承知していても、つい油断しておろそかになりやすい「運転の基本」である「前をよく見ること」、「安全を確認すること」がとても重要であり、防衛運転にもつながります。ハンドルを握つたら、運転に集中して「基本を守った運転」を心がけていただくようお願いいたします。

当協会では、会員の皆様からの貴重な会費を新入学児童への黄色の交通安全傘の贈呈、交通安全運動、街頭指導、広報啓発活動、交通安全教育などの地域の交通安全活動に活用させていただきます。

本年も榛東村交通安全会、関係機関・団体と緊密な連携の下に地域の皆様と交通安全活動に取り組んで参りますので、引き続き当協会に対するご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



伊勢警察署
交通課長
並木 隆氏

交通事故抑止に向けた 地域社会の実現

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年を迎えのことと心からお慶びを申し上げますとともに、平素から交通警察活動に対しまして多大なご支援・ご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、令和6年中の伊勢警察署管内の交通事故発生状況につきましては、人身事故発生件数は、前年と比べ減少させることができたが、交通死亡事故が前年に比べ大幅に増加し、大変厳しい交通事故情勢でございました。

このような交通事故情勢の中にあつて、榛東村内では人身事故の発生件数は、前年と比べほぼ横ばい状態でございましたが、交通死亡事故の発生を抑えることができませんでした。

榛東村内の交通死亡事故は10年以上発生しておりませんので、これもひとえに、日頃から榛東村交通安全会を中心とする皆様方の活動があつてこそのもとの心強く感じております。

少させるためには、警察の大切なパートナーである榛東村交通安全会、交通指導員などの関係機関や団体の皆様方のご協力なくしては、実現できないものと考えております。

伊勢警察署では、榛東村の皆様が交通事故の加害者にも被害者にもならないため、引き続き各種交通事故防止活動を推進して参りますので、今後とも一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



榛東北部保育園
園長
小川みや子氏

交通ルールを守る 安全教室

新年明けましておめでとうございます。

平素より交通安全会を始め、関係者、地域、保護者の皆様方には、交通安全教室にご尽力を賜りまして心より感謝申し上げます。

コロナ禍後は、春秋の交通安全教室は村内の幼稚園・こども園・保育園の年長児と一緒に就学に向けて、交通ルールを自分から守ることを学び、実践することを学習します。道路を横断する時の指導で3本指のお約束「わたしは、かならず」とまります」は、理解し

やすく、その後、会場内で1人ひとりの子どもが横断歩道の渡り方を実践しました。

本園では、園外保育や散歩に出掛ける前に「命を守るお約束のうた」を歌い、道路の安全な歩き方や横断歩道の渡り方などを確認し合い、安全会より頂きました横断中の黄色の旗を活用しています。

園での生活の中でもくり返し実践することで、自分の命は自分で守れる子どもの育成につながっております。

今後も安全教室のためのご指導よろしくお願い申し上げます。



榛東村交通指導員
隊長
千明直哉氏

交通事故ゼロの 安全な村を目指して

新年明けましておめでとうございます。

日頃から交通指導員活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

私たち交通指導員は、月2回と各季交通安全運動期間における朝の街頭指導や村内行事における交通整理などを通じて、交通事故が発生しないように活動しております。

私が交通安全業務に携わり思

うことは、「かもしれない運転」を意識して運転してもらいたいということです。急いでいるとき、焦っているときなどは「だるう運転」になってしまうがちです。常に心にゆとりを持って、周囲の状況に気を配り、危険を予知しながら運転すること、交通事故防止に繋がります。また、運転手だけでなく、歩行者も「車が止まらないかもしれない」という考えを持ち、交通ルールを守って過ごしていただけたらと思います。

これからも引き続き、各種関係機関と連携しながら、村民の皆様方の安全を守るとともに、交通事故ゼロを目指して活動を続けたいと思います。



榛東駐在所
所長
谷 敏之氏

交通事故ゼロの村の 実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

皆様には、平素から警察行政各般に渡り、「交通事故ゼロ」という目標のもと、浅見交通安全会長および板橋女性部長を中心に、

榛東村交通安全会、交通指導員など多くの方々のご協力をいただいておりますことに對しまして、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は、皆様と共に、子ども達に対して、指人形や着ぐるみ劇による交通安全教室や新入学児童へは親子参加型の交通安全教室など、子どもの交通安全に対する意識を高めるために大変有意義なイベントを推進させていただきました。

また、各季の交通安全運動期間中におきましては、一般のドライバーの方に啓発チラシやグッズを配布しながら交通安全に対する理解を求める活動により、交通安全に対する意識の高揚を図ることができました。

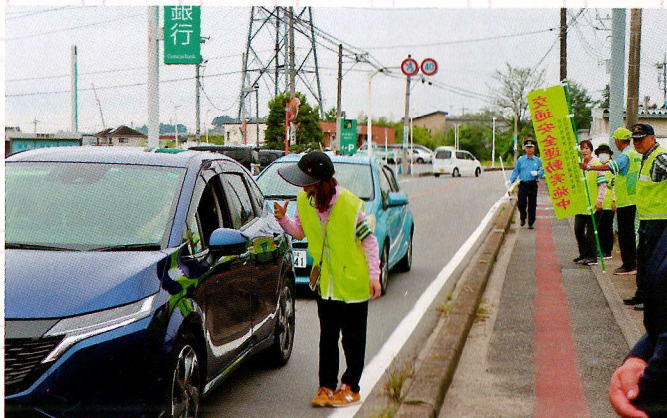
榛東村内では、平成26年以降交通死亡事故が発生しておりません。

私が榛東村駐在所の所長として着任してから5年以上が経過いたしますが、1度も交通死亡事故の発生が無かったことは、日頃から交通安全に向けた取り組みを私たち警察と共に一緒に活動して下さっている皆様方のご協力の賜物であると考えております。

今年も村内の皆様が交通事故の当事者にならないためにも、交通ルールの遵守を強く呼びかけていき、「交通事故ゼロ」の村の実現に向けた各種警察活動を地道に推進していきたいと考えておりますので、引き続き、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

一斉街頭指導

渋川警察署、榛東駐在所、渋川交通安全協会、交通モニター、交通指導員、村長、村議会議員などの方々と
合同で榛東村内において一斉街頭指導を行いました。



ショッピング作戦

フレッシュ榛東新井店で
交通安全啓発品を配布し、
交通事故防止を
呼びかけました。



enjoy SHINTO 村づくり祭

しんとう総合グラウンド
周辺での交通整理等への
協力や会場内では
交通安全啓発品を配布し、
交通事故防止を
呼びかけました。

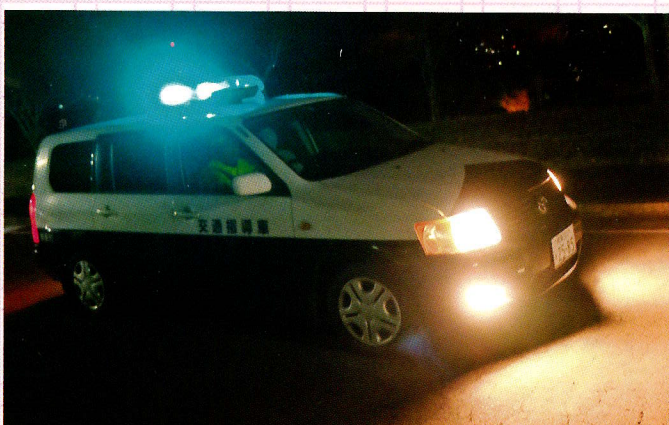
朝の街頭指導

交通安全運動期間中、街頭指導を実施し、
歩行者の安全を確保しました。



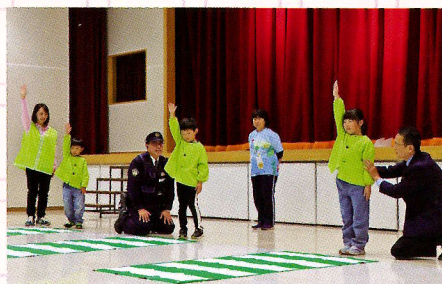
夜間パトロール

毎週火曜日および交通安全運動期間中に
村内のパトロールを実施しました。



交通安全教室

指人形劇・着ぐるみ劇による交通安全教室を実施し、しんとうちゃんとともに園児へ交通ルールなどを教えました。
また、4月から小学生となる親子を対象にした交通安全教室を実施し、横断歩道の渡り方や傘の使い方を教えました。



小学校では

自転車での安全確認の仕方や横断歩道歩行訓練など実践的な練習を実施しました。



中学校では

自転車マナーアップを実施し、中学生にチラシと自転車のサドルやカバンに取り付けるLEDライトを手渡しました。



高齢者の交通安全について

このコーナーでは、高齢者の交通安全について、高齢者の方の意見や体験談を紹介いたします。



佐藤吉邦さん
(7区)

緑内障を発症して 思った事

私は車の免許を取得してから、50年になりました。若い頃は運転するのが楽しく長距離運転も平気でした。でも、年齢とともに、車の運転が億劫に感じられるようになりました。

ある時、日課の散歩中に、いつもと景色の見え方が違う事に気付いたのです。すぐに眼科を受診しました。この時はすでに60才後半で、診断名は「緑内障」でした。緑内障は治る病気ではなく、視野が段々と狭くなり、眼圧が亢進し、重症化すると失明に至る可能性があるとても恐い病気であるという事でした。もっと早くに受診すれば良かったと後悔しました。今までに2度の両眼の手術を受けて、症状も安定していますが、今でも症状の進行を食い止めるために定期的に通院しています。

車の運転も日中は大きな支障はないものの、夜間はまわりがとてもしずかしく感じますので、運転はしません。高齢者の事故が社会問題となり、昔と比べ驚く程車の数が増えている。これから十分に注意しながら、慎重に運転していこうと思います。最後に緑内障は40才に入ると急激に増加傾向にあります。皆さんも一生使う大切な目です。年1度は眼科の定期受診をおすすめします。

高齢者ドライバー として

小山 泰子さん(8区)

昭和40年に免許を取得してより車には長いこと世話になっている。近年叫ばれるのが高齢ドライバーによる事故、身につまされる思いである。しかし、車のない生活を考へてみるに同居の家族は居ても、各々仕事を持ち、頼むこともままならない。車を必要とする内容①通院②食材の買物③各種事業への参加

1日の始まりとして、乗り出す時に今日1日が無事故で帰れますようにと自分に言っている。細い道から県道などへ出るときは左右を確認し、車が見えた時は通過を待つから発進。後続車は「早く行けよー」と思うに違いない。心の中で御免なさいと呟く。日常の用事は同じ方面を纏める。明日でも間に合うか見当し、余裕を持って行動することが一番大事、気持ちに余裕があれば運転もやさしくなれる。この村に住み続ける



井上力四郎さん
(13区)

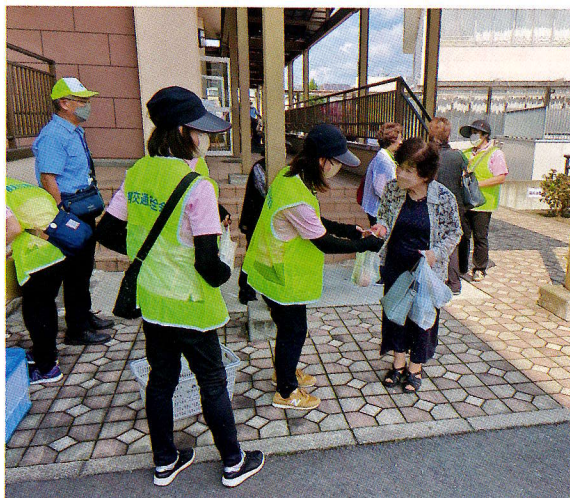
便利さとマナー

我が家はブドウ農家。販売が始まり売店で1日過ごすようになった。色々な運転を見る事になるのです。きれいにバックで駐車した車から出てきたのは両手に杖を持った老人。大丈夫かと心配になります。おそらく車がなければどこにも行くことはできないのでしょうか。車さえあれば1人で何時でも行きたい所に行けるのです。高齢者にとってこれほど有難い物はありません。できるだけ永く車に乗りたいと願うのは当然でしょう。

ために車は必需品、高齢者マークを付けて認識してもらうことも大事。もう少し皆様と一緒に行動したいと願っている。

毎月25日は
高齢者交通安全日です

敬老会



榛東中学校体育館で開催された敬老会において、交通安全啓発品を配布し、交通事故防止を呼びかけました。

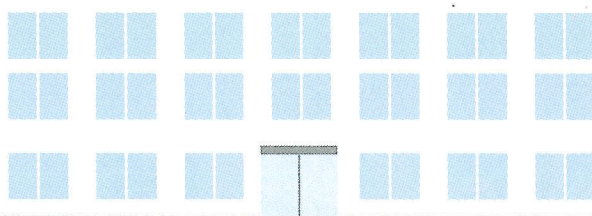


学校



では

南北小学校それぞれの代表者から、交通安全について感じたことや意見などを紹介するとともに、南小学校の足達校長からの寄稿を紹介します。



地域に見守られ 育まれる子供たち



榛東村立南小学校
校長
足達哲也氏

一日頃より、登下校時の子どもたちの安全を見守り、支えてくださる皆様に心より感謝申し上げます。

小学校の子どもは、時として道路の向かい側に気になるものを見つけたと、左右の確認をせず飛び出したり、路肩をはみ出しながら歩いたりすることがあります。そのような中、交通安全会や交通指導員の皆様、榛東駐在所長様には、日々の見守り活動や安全指導を通じて、子どもたちの命を守っていただいています。また、地域の皆様には、朝の旗振りや登校時の付き添い、温かい声かけなど、様々な形で子どもたちを見守っていただいています。

このような地域ぐるみの交通安全への取組によって、子どもたちは学校生活で存分に力を発揮することが出来ます。そして、毎日交わされる挨拶や優しい眼差し、声かけは、思いやりの心を育む大切な教育の機会にもなっています。

今後も、皆様との連携を大切にしながら、子どもたちの交通安全教育に取り組んでまいります。引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

かけがえのない命



榛東村立南小学校
萩原 愛さん

私たちは、平日は学校に歩いて通い、土日は車で買い物など出かけることが多いです。そのため、日々交通安全を意識することを忘れず、生活していかねければなりません。

私は、5年生から通学班の班長をしています。新入生が入学してくると、登校時に注意する場所や横断方法など教えています。これからの小学校生活を安全で楽しく登下校してほしいからです。通学路には、道がせまく見通しが悪いところ、車がスピードを出しやすいところなど、数々の注意するべき場所があります。

1人1人が、かけがえのない命です。1人1人が交通安全のルールやマナーを知り、安全安心に登下校できるように心がけていきます。

安全に過ごすために



榛東村立北小学校
星野桜来さん

私は6年生になって、初めて登校の班長になりました。

私は、だれかの役に立つのが好きなので、班長になったときは、すぐくうれしかったのです。けれど、何回か登校するにつれ、毎日みんなを安全に連れていけるか心配になっていきました。しかし、副班長と相談したりしていくと、心配もうすれていきました。そして、これから私が登校するときに、気を付けていきたいことが、2つあります。

1つ目は、横断歩道での確認です。私は、交通ルールの中で、右左を見るのが1番大切だと思います。いつも横断歩道をわたるとき、かならず右、左を見てわたっています。けれど、たまに、ちゃんと見たはずなのに、わたっている途中で車が来てしまう、ということがあります。私は、このようなことがあるとき、早歩きしているのですが、1年生は大丈夫なのか心配になることがあります。それなので班のみんなと話し合って、1年生に合わせながら、安全に横断歩道をわたりたいです。

2つ目は、班のみんなをよく見ることです。小さな子があやまって道路に飛び出したり、列からはみ出ないかを確認したり、ちゃんと前を見て歩いているかを確認しています。副班長と一緒に見ながら、気を付けて登校していきたいです。

私は、帰り道、大体1人で帰っているのですが、そのときに通学路の危ない所を探してみました。私が前転んでしまった所や、道がせまい所などがありました。また探して、より安全に登校したいです。

これからも、班長の自覚を持って、副班長と話し合ったりして、安全に登校していきたいです。

ヘルメット購入を補助しています

榛東村交通安全会では、高校生の自転車利用時のヘルメット着用を促進し、交通事故による被害の軽減を図るため、自転車用ヘルメットの購入に要する費用の一部を補助しています。

【概要】

対象者：高校に入学している者および4月から高校に通学する者

補助額：安全基準（SGマーク等）に適合したヘルメットの購入価格に
応じて1,000円～3,000円

申請方法：所定の申請書を安全会事務局（榛東村役場総務課）に提出

【令和5年度実績】

令和5年度において、22名の方に補助しました。



村ホームページ



交通安全会理事の 皆さんからの投稿です



第8区自治会理事
山崎美栄子

交通ルールを守って

新年明けましておめでとう
ございます。

交通安全会の理事として活
動に参加し、交通安全への意
識が変わったように思います。

女性部の活動として、村内
の幼稚園・こども園・保育園
児に指人形劇や着ぐるみ劇を
通して交通安全の重要性、大
切さを覚えてもらっています。
子ども達が真剣に見聞きして
いる様子を見てみると、「自分
の命は自分で守る」と言う意
識が感じられました。また、
下校時など自転車で道路いっ
ぱいに広がって走っている光
景は、今まで以上に危険を感
じるようになりました。

園児を対象にした交通安全
教室、小学校では自転車の乗
り方や横断歩道の渡り方、中
学校では自転車マナーアッ
プを行ってきました。

それぞれに学んだ交通ルー
ルを忘れずに通園、通学して
ほしいと思います。基本的な
ルールを守る事で、交通事故
は避けられるのではないで
しょうか。

私自身も車のハンドルを握る
ひとりとして、車を運転する
際にはルールを守り、心と時
間にゆとりを持たなければと
思います。

誰もが1つしか持っていない
ものの、それは「命」です。

榛東村は過去11年間交通死
亡事故ゼロです。これからも
交通死亡事故ゼロの榛東村
に！



第12区自治会理事
松岡 真雄

交通安全

交通安全会の理事になり、
指導される立場から指導する
側になり、交通安全会活動に
参加して改めて交通安全・
ルールの大切さを学んだよう
に思います。

多くの活動の中で交差点で
の朝の街頭指導を行っている
と登校してくる小中学生から
「おはようございます」と挨拶
してきます。朝から元氣と清々
しさを貰ったように思います。
小学校での安全教室は自転車
に乗り、安全走行指導と横断
歩道で歩行指導など、説明を
聞いている顔は真剣そのもの
で、その姿にとっても嬉しく感
じます。

一斉街頭指導では、一般下
ライバーに啓発品を配布し、

安全運転でお願いしますの呼
び掛けに「有難う御座います。
ご苦勞様」と返事が返ってき
て大変嬉しくなります。

敬老会の啓発活動も同じ様
に感謝の言葉をいただきました。
た。多くの方々とふれあいの
言葉と気持ちに余裕が生ま
れ、自分でも運転する際は安
全確認、ルール違反をしない、
あせらずゆとりと思いやりの
気持ちで、「有言実行」、安全運
転に心掛けたいです。

村民皆様のご協力のもと、
交通事故ゼロを目標に活動し
てまいります。



第17区自治会理事
笹澤ルリ子

思いやりの心で運転を

明けましておめでとうござ
います。

交通安全会理事として活動
を始め4年になります。夜間
パトロール・街頭指導・カー

ブミラー清掃・小中学校での
安全教室およびマナーアッ
プ運動など、活動は多岐にわた
ります。また、女性部主体で
は村内の幼稚園・保育園・こ
ども園の園児を対象に、指人
形劇・着ぐるみ劇での交通安
全教室で楽しみながら交通
ルールを学んでもらっています。

基本的な交通ルールを小
さい頃から学ぶ事は大切で
す。ぜひ身に付けていただけたら
と思います。時々ですが横断
歩道で子どもが手を上げてい
るのに止まらない車があります。
「なぜ止まらないの？子どもが
見えないの？」と思いつつも
対向車を見てしまします。よ
り安全に横断歩道を渡るため
にぜひ横断旗を活用してくだ
さい。保護者の皆様からお子
さんに伝えていただければ幸
いです。

現在榛東村では、交通事故
死亡者「ゼロ」が10年余り続
いています。この記録が更に
伸び続ける事を願って活動し
て参ります。

毎月1日は県民交通安全日です

毎月15日は市町村交通安全日・

自転車マナーアップデーです

優良自動車運転者表彰を行いました

優良自動車運転者表彰は、自動車運転に関して、常に交通法令
を遵守し、運転技能に優れ、かつ社会的責任を自覚した思いやり
のある運転者を表彰することで、模範運転を励行していただく
とともに、他の運転者の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止
に寄与することを目的として実施しています。令和6年度において、
次の方々が優良自動車運転者表彰を受賞されました。長年に
わたる安全運転の励行、受賞に対し心から感謝とお祝いを申し上
げますとともに、今度とも安全運転をお願いします。

旭日金冠章 (40年以上 無事故・無違反)	
金冠金賞 (30年以上無事故・無違反)	吉澤 賢司(7区)
金冠銀賞 (20年以上無事故・無違反)	湯浅 豊雄(6区)
金賞 (15年以上無事故・無違反)	樋口ガリーマニビス(6区)
銀賞 (10年以上無事故・無違反)	森田 一明(3区)
銅賞 (5年以上無事故・無違反)	